

KEIZAIREN

情報10

2022.10 NO.1297

安全・安心・新鮮でおいしい静岡県産の農畜産物をお届けします。

エネルギーの安定供給のために 本会エネルギー拠点機能の紹介と取組について

Main topics

エネルギーの安定供給のために
本会エネルギー拠点機能の紹介と取組について…01

topics&news

柑橘技術員の技術力・指導力向上のために
柑橘技術者協議会全員研修会……………03

新米の県産米をPR
テレビ番組で県産米を紹介……………03

消費者に好まれる茶づくりを
第57回静岡県茶品評会……………04

県下JAグループの連携を図る
令和4年度第1回静岡県JA営農経済部長会を開催…04

肥料工場と土壌肥料分析センターを紹介
「ごちそうカントリー」番組収録と放送……………05

葬儀担当者のスキルアップ研修
静岡県農協葬祭事業連絡協議会研修会…05

いちじくの商品向上を
第45回静岡県いちじく果実品評会……………06

WEBでリモート就業体験
令和4年度インターンシップ……………06

最新研究紹介

静岡県農産物の抗酸化能と総ポリフェノール量…07

お知らせ

建設部からのお知らせ……………09

あぐりんく静岡からのお知らせ……………09

JAタウンおすすめ商品のご紹介……………10

テレビ番組のご紹介……………10



▲柑橘技術者協議会全員研修会



▲「ごちそうカントリー」番組収録と放送



エネルギーの安定供給のために 本会エネルギー拠点機能の紹介と取組について

Ⅰ はじめに

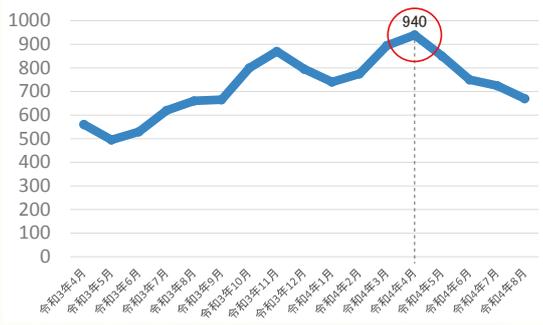
本会は「JA静岡経済連3か年計画」の基本目標として「経営環境に対応した事業・経営の転換」を掲げ、地域・組合員の暮らしを支えるための事業提案に取り組んでいます。

そこで、今回のメイントピックスでは、組合員の営農活動やくらしを支えるエネルギー（LPガスと石油）について、本会が持つ拠点機能とその取組をエネルギー情勢とともにご紹介いたします。

Ⅱ LPガス事業

1. LPガスを巡る情勢

プロパンガスの指標となる価格（サウジCP価格、図1）は、原油高の影響を受け、令和4年4月価格は940ドル/トと大幅高値となりました。その後は不要期でもあることから下落しましたが、上期平均価格は764ドル/トと、昨年同期の588ドル/トを176ドル/ト上回りました。さらに為替も大幅な円安が進行したことで輸入価格は高止まり



▲図1 サウジCP価格 (ドル/トン)

～用語解説～
サウジCP（コントラクト・プライス）とは、LPガスの最大の輸出国であるサウジアラビアの国営企業「サウジアラムコ」が輸入国の取引先と交わす契約価格。LPガス最大の輸出国であるサウジアラビアが決定したCPIは、世界のLPガス輸出価格のベースとなります。

2. 本会の取組

(1) LPガス充填所の運営と共同充填の取組
農家、組合員の生活の利便性向上のため、昭和30年代から普及し始めたLPガスについて、本会も昭和39年を皮切りに、県内にLPガス充填所を構築、LPガス供給体制を構築し、JAAILPガス事業の拠点となりました。

現在は下田充填所、大井川充填所、袋井充填所にてLPガスボンベなどへの充填作業を行う他、平成17年には本会・鈴与商事(株)・ガステックサー

ビス(株)（現サーラエナジー(株)）の3社でガスコミュニケーション静岡(株)、ガスコミュニケーション浜松(株)を設立するなど、同業他社との協力による共同充填の実施により、県内全域での供給体制の実現及び効率化の向上に努めています。

また、令和3年4月からは浜松地区において、サーラエナジー(株)とのLPガス容器の統一化による共同配送も開始し、更なる配送効率化向上を図っています。

(2) LPガス総合供給センターの運営
県内LPガス小売事業における昭



▲大井川プロパンガス充填所

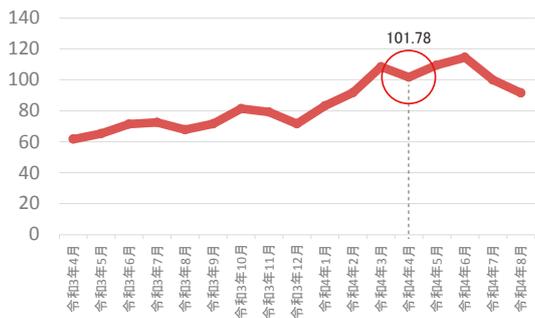
和60年代までの電算処理は、静岡県農協電算センター(株)や、各保安センターの独自システムをJA毎に利用していました。しかし、当時のシステムは手書きの検針伝票による運用で、質量販売（ボンベの重量を計測し販売する方法）が多く、ガスメーターによる販売についても検針値の相違などが多く発生していました。

また、この検針値を活用してボンベの配送予定日を予測することからガス切れなどお客様にご迷惑をお掛けすることもあったため、JA全農が開発した供給センターシステムを、昭和63年に全国でいち早く導入しました。

その後、JAAILPガス小売事業をサポートするため、平成元年に総合供給センターを立ち上げ現在に至っています。

総合供給センターは県下JAAILPガス販売に必要な検針処理、配送予測処理、顧客管理、保安管理などを県下統一の仕組みで提供しています。また、検針情報は、静岡県農協電算センター(株)にデータ提供し、実績計上や未収金計上を行うとともに、集金代行（他行決済）やクレジット決済のデータ処理を実施し、組合員利用者からの決済の多様化要望にも対応しています。

平成19年からは、独自開発による新供給センターシステムを稼働させ、利便性や効率化の向上に努めています。また、平成2年からは、同センター



▲図2 WTI原油価格 (ドル/バレル)

～用語解説～
WTI原油価格は、ニューヨーク・マーカンタイル取引所で取引されているWTI（西テキサス地方の中質原油）という米国の代表的な原油の先物商品の価格。取引量と市場参加者が多いことから、原油価格の代表的な指標のひとつとなります。

1. 石油を巡る情勢
4月のWTI原油価格(図2)は、ロシアによるウクライナ侵攻により、100ドル/バレル近辺の高値でのスタートとなりました。以降も脱炭素による化石燃料への投資抑制で産油国の減産が進んだことや、コロナ後の需要回復により上昇し、6月上旬には一時120ドル/バレルまで上昇しました。その

III 石油事業

内に集中監視センターを設置し、24時間、休日、祝日もLPガスの安全な使用を見守る体制を構築いたしました。令和2年4月からはJ A全農子会社である㈱J A-L Pガス情報センターに同事業を委託し、更なる保安の高度化や効率化に向け対応しています。



▲燃料を継続供給するために本会がチャーター契約するローリー

2. 本会の取組
J A全農とともに全国のJ A S Sのネットワークを構築し、組合員や利用者への車両や農機具への燃料供給のほか、生活に必要な灯油や宮農用重油の供給を行っています。
このような中、本会では平成8年より石油受注センターを構築し、宮農用重油などの受発注や、県下SSからの受注・配車調整を行っています。

後は、世界的に中央銀行の利上げによる景気後退懸念や、イランへの制裁緩和による輸出再開、産油国の増産拡大により価格上昇は落ち着き、9月後半は90ドル/バレルを割り込んでいますが、LPガス同様、円安の影響で輸入価格は高止まりしています。



▲JASS-PORT南伊豆

1. 県下燃料事業の体制整備
J A S Sを中心とした燃料供給体制を維持するため、本会子会社のジエイエイ静岡燃料サービス㈱が一部経営受託を行っています。平成18年J A遠州夢咲を皮切りに、現在17SSをJ Aより受託し、経営を

IV エネルギー事業の体制整備と今後の取組

また石油元売会社が合併、統合し石油業界が再編される中、J A全農や県内外の商社と折衝を行い、燃料の有利仕入や安定供給に取り組んでいます。
その他、本会は燃料配送会社と直接契約を行うほか、配送車両の一部チャーターを行いながら、燃料の安定供給体制の構築に努めています。

行っています。
また、LPガス事業についても平成30年にJ Aしみず、J A掛川より事業譲受し、小売事業を行っています。

2. 総合エネルギー事業の取組検討
世界的なカーボンニュートラルへの加速化や、SDGs、みどりの食料システム戦略などにより、電気や再生可能エネルギーへの需要が急速に高まっています。

このような状況を考慮し、本会としても農家・組合員への最適なエネルギー事業の提案が出来るよう、従来の石油やLPガスに加え、電力小売事業への対応など総合エネルギー事業への対応を検討しています。

IV おわりに

今回のメイントピックスでは、組合員の営農・くらしを燃料で支える総合エネルギー課の取組についてご紹介いたしました。不安定な世界情勢、新型コロナウイルス感染症、円安など厳しい状況が続いておりますが、組合員の皆さまへ安定してエネルギーを供給できるよう取り組んでまいります。

問い合わせ先

●くらし支援部 総合エネルギー課
電話：054-1284-9529

(石油) 054-1284-9742
(ガス)

柑橘技術員の技術力・指導力向上のために 柑橘技術者協議会全員研修会

9月7日、本会（柑橘果樹課）・静岡県柑橘技術者協議会（一社）静岡県柑橘振興基金協会は、静岡市清水区で柑橘技術者協議会全員研修会を開催し、県やJAなどの技術者約40人が参加しました。県内の柑橘技術員を一堂に会し、新品種や新技術などについて意識や情報の共有を図ることが目的。同研修会は、コロナ禍の影響で3年ぶりの開催で、当日は雨が降る中でしたが参加者は講師らと活発な意見交換を行いました。

本会庵原圃場では、ジャパンアグリサービス静岡の望月紀志代表が講師を務め、ドローンを使った防除を実演しました。ドローンは、事前に圃場データをプログラミングしており、参加者は全自動飛行で薬剤が散布される様子を確認しました。

農研機構カンキツ研究領域の圃場では、シールドイン



▲ドローン防除の実演（本会庵原圃場）

グ・マルチ（S・マルチ）について研修しました。S・マルチは、同機構が高い実用性と安定した高品質果実を生産できる技術として開発したもので、専用シート（S・シート）を圃場に埋設し根域に水分が入らないように防ぎその上にマルチをするものです。同機構の岩崎光徳研究員がS・マルチの施工方法などを紹介しました。S・マルチの試験を行った早生温州みかんでは、開発1年目の2017年から連年で糖度12度以上となっていることなどの研究成果を報告しました。

J A しみず管内の圃場では、半樹



▲S・マルチ栽培の効果と施工方法を説明（農研機構カンキツ研究領域）

交互結実の実践園を視察し、同JA東部営農センター興津営農拠点の安竹英晴拠点長が隔年結果は正や作業の省力化について説明しました。

県農林技術研究所果樹研究センターでは、温州みかんの新品種「春しずか」の特性について、同センター曾根悠介研究員が説明し、試験圃場を確認しました。「春しずか」は、収穫時期が「青島温州」に比べて約1か月遅い超晩生で、浮皮の発生が少なく、3月までの長期貯蔵後でも適度な酸味があり食味が良く高い貯蔵性を持つことが特徴です。



▲半樹交互結実の実践園（JAしみず管内圃場）

新米の県産米をPR テレビ番組で県産米を紹介

食糧課は、本県産の新米出荷開始に合わせて県内で放送されるテレビ番組で、県産米のPRを行いました。放送されたテレビ番組は、「チョット！いいタイム」（テレビ静岡・9月8日放送）と「Dstyle」（静岡第一テレビ・9月14日放送）の2番組で、食糧課の杉本耀介職員が両番組に出演し、「新米は、もちもちとした食感と甘味が特徴。この時期しか味わえない、炊きたてのどほん本来の美味しさを味わってください」と紹介しました。



▲「チョット！いいタイム」（テレビ静岡・9月8日放送）



▲「Dstyle」（静岡第一テレビ・9月14日放送）

消費者に好まれる茶づくりを 第57回静岡県茶品評会

8月2日から3日間、茶業部と(公社)静岡県茶業会議所は、静岡市葵区(株)静岡茶市場で「第57回静岡県茶品評会」を開き、県内より合わせて323点が出品されました。

県内産茶の特質を明らかに、消費者に好まれる茶生産技術の向上に貢献し、本県茶業の発展を図ることが目的。

出品点数は、普通煎茶99点、深蒸し煎茶93点、てん茶100点、「つゆひかり」19点、被覆茶12点でした。品評会では、試験研究機関・生産・流通関係団体など代表者の審査員13人が外観・香气・水色・滋味などを審査しました。

主な入賞者は次のとおり(敬称略)。



○普通煎茶の部

- 1等1席 農林水産大臣賞
相藤園 相藤裕次(川根本町)
- 1等2席 静岡県知事賞
相藤園 相藤直紀(川根本町)

○深蒸し煎茶の部

- 1等1席 農林水産大臣賞
農事組合法人東山茶業組合
杉山敏広工場長(掛川市)
- 1等2席 静岡県知事賞
農事組合法人山東茶業組合
伊藤智章代表理事(掛川市)

1等3席 日本茶業中央会会長賞

- やまま満寿多園
三倉豊博取締役常務(御前崎市)

○てん茶の部

1等1席 農林水産大臣賞

- 市之瀬の里 勝治義男(藤枝市)

1等2席 静岡県知事賞

- 小園碾茶組合 宮崎研一郎(藤枝市)

1等3席 日本茶業中央会会長賞

- 小園碾茶組合 小林秀明組合長(藤枝市)

1等4席 全国茶生産団体連合会会長賞

- 小園碾茶組合 小林博(藤枝市)

1等5席 全国茶商工業協同組合連合会会長賞

- 小園碾茶組合 桑山寿美男(藤枝市)

○つゆひかりの部

県知事賞

- 湯日第一茶農業協同組合
古沢義晴代表理事組合長(島田市)

○被覆茶の部

県知事賞

- 農事組合法人東山茶業組合
杉山裕朗代表理事(掛川市)

県下JAグループの連携を図る 令和4年度第1回静岡県JA営農経済部長会を開催

9月15日、JA支援課は令和4年度第1回静岡県JA営農経済部長会を開催し、JAと本会の担当部長ら37人が参加しました。JAの参加者はWEB会議システムを使いリモートでの参加となりました。

開催に先立ち、部長会の会長を務めるJAしみず良知和久営農経済部長と本会の加藤敦啓代表理事理事長が挨拶をしました。次いで、情勢報告として、寺田彦代表理事専務より本会の事業概況と系統農業機械事業の持続化に向けての検討について説明し、JA全農西日本資材事業所

の田中達也所長より肥料原料の仕入れや肥料製造業の課題などについて情勢が報告されました。

研究事項として、本県農業と本会のJA支援取組事項について石川和弘常務理事が説明した他、みかん園芸部より農産物生産コスト上昇に伴う情報共有・意見交換会の開催、建設部より委託契約による「リフォーム事業」について報告しました。また、(株)タイミーの葛西伸也マネージャーより労働力支援の提案について説明しました。



▲JAしみず良知和久営農経済部長



▲加藤敦啓代表理事理事長

肥料工場と土壌肥料分析センターを紹介 「ごちそうカントリー」番組収録と放送

8月21日、静岡第一テレビで毎週日曜日昼11時40分から放送している「ごちそうカントリー」で、「肥料と土壌診断」をテーマに本会大井川肥料工場・土壌肥料分析センターの取組と農産物としてJAみっかびのハウスみかんを紹介しました。

番組収録は8月10日に行い、番組制作のため本会（生産資材部、企画管理課）は、土壌診断を活用しているJAみっかびの生産者内藤宏基さんのハウスや焼津市の本会大井川肥料工場などで取材協力をしました。番組では、圃場での土壌サンプル



採取から分析センターでの土壌診断について一連の流れを紹介しました。内藤さんの圃場では、JAみっかび柑橘課山本輝弥柑橘指導員も出演しJAが行う生産者へのサポートや取組とJAみっかびのハウスみかんを紹介しました。大井川肥料工場内にある土壌肥料分析センターからは、塚本大智職員が出演し、土壌診断について説明しました。その後、大井川肥料工場では、小笠原紀征工場長が肥料原料の仕入れから製造、パッキング、肥料倉庫での保管までの流れと本会の取組を紹介しました。



「ごちそうカントリー」は、動画配信サイト「Ustream」で配信しています（視聴には会員登録が必要です）。



過去の放送回を
配信中!

Daichi TV

ごちそう
カントリー

hulu

通常2週間のところ、
1ヶ月間無料トライアル実施中!

葬儀担当者のスキルアップ研修 静岡県農協葬祭事業 連絡協議会研修会

9月8日、静岡県農協葬祭事業連絡協議会（事務局・生活葬祭課）は、県農業会館で「令和4年度静岡県農協葬祭事業連絡協議会研修会」を開き、会員JAとJA子会社の担当者ら16人が参加しました。

研修会では、講師としてエピソードコンサルティング(株)小野寺秀友代表取締役を招き、「葬儀担当者に必要な『説明力』と『共感力』」をテーマに研修しました。また、事務局より葬祭事業に関する情勢について報告しました。



いちじくの品質向上を 第45回静岡県いちじく果実品評会

9月12日、静岡県落葉果樹振興協会（事務局・柑橘果樹課）は、県農業会館で「第45回静岡県いちじく果実品評会」を開きました。県産いちじくの品質改善と生産者の技術向上を図り、産地を維持することが目的。

審査対象の品種は「柗井ドーフィン」で、7JAから40点の出品となりました。静岡県農林技術研究所果樹研究センターの松浦英之センター長が審査長を務め、静岡県や農林事務所職員など審査員10人が、外觀や糖度、充実度、食味などを規定に基づいて審査しました。出品物の平均糖度は13・8度、最高は16・9度でした。

松浦センター長は「本年は8月まで曇天・降雨日が多く、猛暑が続き高品質果実の生産に苦労されたかと思いますが、生産者の皆さまの努力とその後の天候に恵まれたこともあり、出品されたものは高いレベルで品質が揃っていた」と講評しました。出品物は、9月13日に静岡市清水区のイオン清水店で販売しました。



▲金賞を受賞した太田さんのいちじく

上位入賞者は次のとおり（敬称略）。

金賞

静岡県知事賞

静岡県京浜地区果実流通協議会会長賞

太田 雅俊（JA遠州中央）

銀賞1

静岡県経済産業部長賞

杉山 貴志（JA掛川市）

銀賞2

静岡県農林技術研究所果樹研究センター長賞

片山 進一（JAおおいがわ）

銀賞3

静岡県農業協同組合中央会代表理事会長賞

矢部 光良（JA掛川市）

銀賞4

静岡県経済農業協同組合連合会代表理事賞

栗山 直美（JA遠州夢咲）

銅賞

赤堀 輝雄（JA遠州夢咲）

鈴木美保子（JA遠州中央）

鈴木 康朗（JA掛川市）

鈴木 和美（JA遠州中央）

夏目 正秀（JA遠州夢咲）

大石 栄次（JA遠州中央）

後藤 三雄（JAハイナン）

望月 和宏（JAふじ伊豆）



▲銀賞2



▲銀賞1



▲銀賞4



▲銀賞3

WEBでリモート就業体験 令和4年度インターンシップ

人事教育課は、8月30日と9月2日の2日間、令和6年度採用に臨む学生を対象にインターンシップを開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、WEB会議システムを使ったオンラインでの参加となりましたが、全国各地の大学などから学生らが参加しました。

インターンシップでは、就業体験を通じて本会の事業内容や役割を知ってもらうため、人事教育課より本会事業概要とみかん園芸部より青果物流通について説明し、その後「SNSを活用した消費者への静岡レタスのPR方法」をテーマにグループワークを行いました。参加した学生は、グループに分かれそれぞれ意見をまとめ、発表を行い、出されたアイデアについて本会職員と意見交換を行いました。また、就職活動アドバイスと質疑応答を行い、参加した学生らの就職活動の悩みや職場環境などの質問について、本会若手職員が答えました。



▲グループワークの発表について意見交換する職員

農林技術 研究所 だより



静岡県農産物の抗酸化能と

総ポリフェノール量

一 はじめに

本県は、東西南北に長く、日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、多様な豊かな自然に恵まれています。この恵まれた環境の中で生産される農林水産物は、四百品目以上あるとされ、全国トップクラスを誇ります。一方、消費者の健康に対する意識が高まっている現在、農産物の抗酸化能（後述）が注目されており、消費拡大や機能的表示食品等の新たな開発のために、農産物の抗酸化能を把握することはきわめて重要であるといえます。しかし、これまで、静岡県の農産物に対して、抗酸化能を調べた事例はありませんでした。

そこで、静岡県農産物一四一品目に対して、抗酸化能を調査しました。さらに、農産物に含まれている抗酸化物質である総ポリフェノール量も調査し、抗酸化能と総ポリフェノール量との関係を明らかにしました。

二 抗酸化能、ポリフェノール量について

一般的に、ストレスや細菌感染等

により体の中では、活性酸素（酸素が化学的に活性になった状態）が過剰に発生します。活性酸素は、不安定な物質ですが強い酸化力を示すため、体内成分の酸化を促し、脂質、タンパク質、DNA（遺伝子）等は、損傷を受けることとなります。

抗酸化能とは、活性酸素の発生を抑制したり、生成した活性酸素を除去する程度（能力）のことをいいます。野菜等、農産物にも多く含まれていることが知られています。また、抗酸化能を有する物質を抗酸化物質と呼びます。抗酸化物質を多く含む食品を日常的に食べることは、生活習慣病の予防の観点から重要です。今回の調査では、抗酸化能の強弱を比較評価できる方法の一つであるDPPH法で農産物の抗酸化能を評価しました。DPPH活性は、新鮮重100gあたりのTrolox（水溶性抗酸化物質 TE）相当量として算出しました。

農産物中に含まれる代表的な抗酸化物質に、ポリフェノールがあります。ポリフェノールは、摂取により酸化ストレスを軽減し、心血管疾患リスク低減することが報告されており、生活習慣病の改善等が期待でき

る農産物の重要な成分の一つです。今回の調査では、農産物の総ポリフェノール量についても調査しました。総ポリフェノール量は、新鮮重量100gあたりの没食子酸（タンニン）様のポリフェノールの一種）相当量として算出しました。

三 供試した農産物について

供試した農産物は、一九八八年に静岡県が県内各地で栽培または自生している野生種や在来種をまとめた「遺伝資源リスト」を元に農林事務所と連携し、現地の再調査を実施して収集した九六品目、さらに、主要作物として「静岡県野菜園芸の生産と流通」に記載されている農産物など四五品目、合計一四一品目を分析しました。それらの分類ごとの内訳は、葉菜類四一品目、果菜類一六品目、根菜類八品目、芋類二品目、穀類九品目、豆類七品目、柑橘類二品目、果樹類（柑橘類除く）一三品目、その他三品目（桑の葉、椀木、ジュウモンジシダ）です。

四 DPPH活性と総ポリフェノール量の関係

図1にDPPH活性と総ポリフェ

ノール量の散布図を示しました。総ポリフェノール量とDPPH活性の間に高い相関が認められました。ポリフェノールを抗酸化物質の対象にした場合、DPPH活性を測定すれば総ポリフェノール量がある程度推察できるといえます。

五 分類毎のDPPH活性と総ポリフェノール量

表1に分類毎のDPPH活性と総ポリフェノール量、全体の平均値を示しました。一四一品目の全体のDPPH活性の平均値は750μmolTE/100gですが、穀類、豆類、果樹類、その他はそれらを大きく上回る、1371-1904μmolTE/100gありました。また、総ポリフェノール量の平均値は324mgGAE/100gですが、穀類、豆類、柑橘類、その他は、467-678mgGAE/100g以上と高い値を示しました。逆に、根菜類やいも類は、DPPH活性、総ポリフェノール量ともに少ない値を示しました（表1）。一般にポリフェノールは、植物が自分自身の体を太陽光等の紫外線から守るため作り出した水溶性成分であり、色素や苦味、渋味の中に多く含まれています。土

私が紹介します！



静岡県農林技術研究所
加工技術科

小杉 徹

壤中に埋まっている根菜類や芋類は、紫外線の影響を受けづらいため、総ポリフェノール量が少ないと考えられます。

六 DPPH活性と総ポリフェノール量が多い農産物

図2に、一四一品目中、DPPH活性と総ポリフェノール量が多い農産物五品目を示しました。DPPH活性は、オニクルミが最も高く、以下、在来インゲンマメ、桜葉、在来アズキ、水窪トウゴロアズキでした。総ポリフェノール量は、トウスの果皮が最も多く、以下、水窪タカキビ、在来トウガラシ、桜葉、エゴマ(葉)となりました(写真一)。

七 おわりに

在来作物は、そのほとんどが中山間の過疎地域にあり、現在継承の危機にあるとされています。今回、地域の在来作物に、抗酸化能を指標とする新しい付加価値を加えることができたと考えます。今後の在来作物の存続のためにこれらのデータが利用されれば幸いです。

なお、現在、抗酸化能等の一部のデータをまとめた、農林水産データベースを、(公)財静岡産業振興財団フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンターHP



▲(公)財静岡産業振興財団フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンターHP

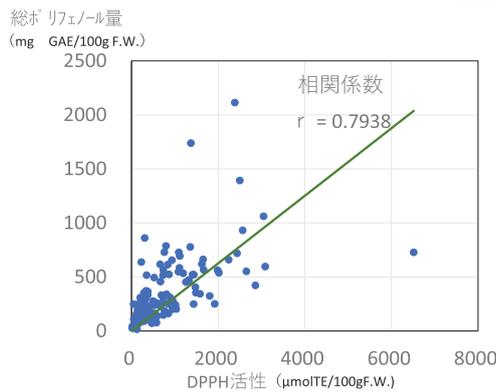


図1 DPPH活性と総ポリフェノール量の関係

ノバーションセンターのホームページ上で公開しています。これは、本県特産の農畜水産物から一〇五品目を調査(在来作物二八、野菜一七、果樹二四、茶三、水産物三一、畜産物二)し、商品開発に資する機能性や栄養成分、産地情報だけでなく、農産物の写真、学名、品種、特徴、来歴・歴史、栄養成分、時期、栽培法、学術情報などを記したものとなっております。こちらもぜひご利用ください。最後になりましたが、貴重な農産物を提供していただいた生産者と関係者の皆様に感謝申し上げます。

連絡先

磐田市富丘五七七八ー一
静岡県農林技術研究所加工技術科
Mail: agrikakou@pref.shizuoka.jp



写真1 DPPH活性やポリフェノール量が高い農産物

表1 分類毎のDPPH活性と総ポリフェノール量(平均値±標準偏差)

分類	品目数	DPPH活性 ^(注1)	総ポリフェノール量 ^(注2)
		(μmol TE/100g F.W.)	(mg GAE/100g F.W.)
葉菜類	41品目	504 ± 540	229 ± 187
果菜類	16品目	544 ± 655	215 ± 345
根菜類	8品目	328 ± 285	170 ± 191
芋類	23品目	394 ± 379	244 ± 172
穀類	9品目	1561 ± 664	669 ± 422
豆類	7品目	1711 ± 1094	494 ± 169
柑橘類	21品目	719 ± 544	467 ± 441
果樹類	13品目	1371 ± 1648	375 ± 237
その他	3品目	1904 ± 995	678 ± 334
全平均	141品目	750 ± 853	324 ± 309

注1) 新鮮重 100 g あたりのTrolox 相当量 (μmol TE/100g F.W.) として算出。
注2) 新鮮重 100 g あたりの没食子酸 相当量 (mg GAE/100g F.W.) として算出。

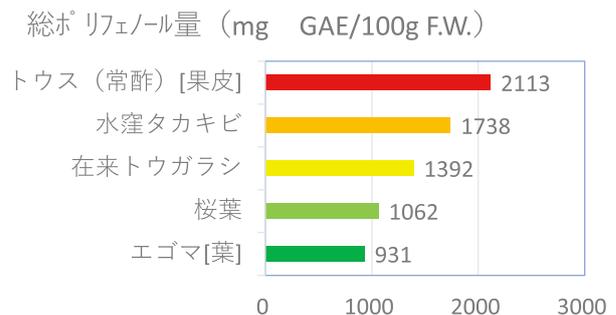


図2 静岡県の農産物のDPPH活性と総ポリフェノール量(141品目中の上位5品目)

富士伊豆農業協同組合

三島函南地区 新店舗完成 ファーマーズマーケット 建設工事 竣工式

10月7日、JAふじ伊豆は、ファーマーズマーケット建設工事の竣工式を行いました。

神事は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行い、鈴木正三代表理事組合長をはじめ、最小限の出席者により厳粛に執り行われました。

本工事は、三島函南地区本部の南側の駐車場に建設を行い、10月26日に新店舗がオープン予定です。

新店舗は、鉄骨造2階建、延床面積850㎡で、1階の売場には農産物売場の他に、花き売場、試食コーナーや精米コーナーなどを配置しております。売場内の天井高さは5mと高く設定し、明るく開放的な店内としました。2階には事務室や職員休憩室などを計画しました。

設計監理は、静岡県経済連一級建築士事務所が行っています。



▲建物外観写真



▲鈴木組合長玉串奉奠



▲鈴木組合長挨拶

【 営農ナビ 】 文字が大きく見やすくなってリニューアルしました!

めぐりんく静岡 からの お知らせ

農産物安全分析センター

分析メニュー、申込書、分析フロー（手順）を掲載しています。分析の際はコチラから!

経済連肥薬通信

更新

経済連肥薬通信10月号
経済連コンサルタントによる技術情報

柑橘果樹情報

茶園からみかん園への転換事例や栽培暦、柑橘誌の紹介を掲載しています。

販売情報

東京、名古屋、大阪の青果・花卉の概況を掲載しています。

県内
JA限定

生産・事業推進に
役立つ情報が満載!!

●イントラから利用できます。

～他にも、農畜産物別の情報なども充実～

担当：生産資材部 生産振興開発課 (TEL 054-284-9729)

JAタウン しずおか「手しお屋」おすすめ商品のご紹介

今月のおすすめ商品をご紹介します!



静岡そだちハンバーグ

【商品内容】

規格：生ハンバーグ180g×5個

【商品紹介】

特選和牛静岡そだちをふんだんに使用したハンバーグです。静岡そだちの特徴である柔らかな肉質と、甘みがあり香り高い脂の特徴を活かした逸品です。ジューシーな旨味をお楽しみください。



▲調理例

3,780円 (送料・税込み、クール代別途)



しずおか手しお屋

Q 検索

※販売価格や販売時期は変更する場合があります。

担当：営業部 流通開発課
(TEL:054-284-9728)

◀商品ページはこちら

テレビ番組

「しずおかごはんが食べたい！」(テレビ静岡)

担当：食糧部 食糧課 (TEL:054-284-9737)

静岡県産米麦流通連絡協議会（事務局：食糧部）は、テレビ番組「しずおかごはんが食べたい！」（テレビ静岡・全11回放送）に協賛し、県産米のPRを行っています。

令和4年度の第5回目（9月17日）の放送では、お笑い芸人のフォーリンラブ・バービーさんが、「静岡コシヒカリ」を紹介しました。「静岡コシヒカリ」は粘り、甘み、旨みのバランスが絶妙で美しい炊き上がりが特徴。番組では、浜松市東区の生産者・高井敏明さんの圃場で、バービーさんがコンバインで稲刈りを体験し、収穫した稲の乾燥工程を見学しました。

次回の「しずおかごはんが食べたい！」（10月15日放送）では、掛川市と菊川市からオーディー・春日俊彰さんが紹介予定です。



▲生産者の高井さんが出演



▲「静岡コシヒカリ」を紹介



▲バービーさんが稲刈り体験をしました

世界お茶まつり2022に出展します

World O-CHA(Tea)Festival 2022, Shizuoka, Japan

世界お茶まつり 2022

入場
無料

秋の祭典 2022年10月20日(木) - 10月23日(日)

10:00 ~ 16:00 (20日(木)は12:00~開場)

会場: 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」



主催: 第8回世界お茶まつり実行委員会

お問い合わせ先
第8回世界お茶まつり実行委員会事務局
〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル3階
Mail: wof@pref.shizuoka.lg.jp URL: <https://www.ocha-festival.jp/2022/>
Tel: 054-202-1488



10月20日(木)から23日(日)までの4日間、世界各国からお茶に関する「人」「もの」「情報」が集まるお茶の総合イベント「世界お茶まつり2022 秋の祭典」が静岡市駿河区のグランシップで開催されます。茶業部はグランシップ1F大ホール「海」で行われる「ワールドO-CHAマーケット」に出展し、本会ブランド茶「静岡茶揉一ひとえ」などを販売する予定です。ぜひご来場ください。

担当: 茶業部 茶業課 (TEL: 054-284-9719)

